研修目的

腎臓および内分泌疾患患者の総合診療を行う。

習得できるアウトカム（能力）

1) 必ず習得できるアウトカム（能力）

腎臓および内分泌疾患の総合診療能力を修得できる。

A. 医師としての基本的価値観（プロフェッショナリズム）

・目の前の患者を責任もって診療できる。

B. 資質・能力

・腎臓および内分泌疾患患者が呈する病態に対して問診、身体診察、病歴調査、検査オーダー、アセスメント、治療を行う。

C. 基本的診療業務

・指導医とともに腎臓および内分泌疾患の総合診療を行う。

2) 研修医の意向により習得できるアウトカム（能力）

A. 医師としての基本的価値観（プロフェッショナリズム）

・退院後の診療および生きがい支援。

B. 資質・能力

・学会発表、論文作成等。

C. 基本的診療業務

・指導医とともに専門的な診療（血液透析、腹膜透析、アフェレーシス、腎生検、内分泌負荷試験などの技術を含む）を行える。

具体的な指導方法・フィードバック方法（研修方略）

指導医と研修を振り返るとともに将来の展望について話合う。

週間予定表

	午前	午後	夕方
月	8:30～9:00 朝カンファ 9:15～手術	14:00～総回診・症例検討	
火	8:30～9:00 朝カンファ 9:15～手術・腎生検		
水	8:30～9:00 朝カンファ 9:30～静脈サンプリング・腎生検		
木	8:30～9:00 朝カンファ	15:00～腎病理カンファ	
金	8:30～9:00 朝カンファ 9:15～手術		

指導責任者および指導医

指導責任者：森 建文、石山勝也

指導医：中村はな、蔭山和則、矢花郁子、橋本英明、中山晋吾、伊藤大樹、鎌田綾佳

学会発表・論文作成に対する指導体制

指導医が発表のための文献検索、スライド作製、プレゼンテーションなどの指導を行う。